

**アルルの嫁入り**

2009年、アルルが広島市安佐動物公園に嫁入りしました。

6月18日早朝に秋田を旅立つため、前日に麻酔をかけ、輸送用の箱に入れました。この時は血液検査も行いました。長旅になるので、点滴をして準備万端です。

※輸送箱は鉄製のとても丈夫なものです。



輸送箱の中はこんな感じ



ドキ  
ドキ

2009年6月18日、秋田を出發。気をつけてね～!!



フェリーに乗って、高速道路を通り、3日目にやっと広島市安佐動物公園に着きました。だんなさんのバイクと仲良くね。

輸送箱に入れていた水入れが、アルルがかじって左の写真のようになってしまいました。

東北では大森山だけ

**アムトラル 姿百態**



まんまタイムでのウィッキー。爪で引っかきは、鶏肉をゲット!



牛の骨にかぶりつくウィッキー。でも、骨は食べないです。あしからず...



パイを転がす姿は、ネコそっくり!?



真冬でも寒さはへっちゃら。パイを転がしながら、水の中へも入ります。



ミルルの前足の爪です。もし、こんな爪で襲われたら...



茂みの中からカメラを見つめるミルル。



アシリの前足を、人の手と比べてみました。



何かを威嚇(?)するアシリ。口を開けると、こんなに立派な牙が見えます。



アシリの舌です。ネコと同じで、サラサラです。



まんまタイムでのアシリ。馬肉めがけてネコ(トラ)パンチ!

トラにまつわる

**子育て物語**



昔、大森山動物園に上手に子育てができない「ミドリ」という名前のメスのトラがいました。

**1** 「ミドリ」はお母さんトラから愛情を受けずに、人の手で育てたトラでした。そんな「ミドリ」が出産。やはり同じように、子には見向きもしていませんでした。



**3** 「ラン」は、スクスク育ちました。成長の早い「ラン」は、3か月をすぎると、犬のお母さんを追い越すほどに成長し、犬のお母さんは悲鳴をあげるようになり、一緒にさせることができなくなりました。



成長したラン



ランが育てた子どもたち

**2** 生まれたトラの赤ちゃんをどうしようかと悩んでいたとき、動物園に来た迷い犬が仔を産みました。動物園では、「ミドリ」の子ども(名前は「ラン」)をその犬にあずけてみることにしました。

犬がそばにいて、やさしくたっぷりの愛情を「ラン」に注いでくれば、きっと立派なトラに成長するに違いないと思ったからです。

「ラン」を犬のお母さんに預けると、犬のお母さんは我が子とわけへだてなく、いつも触れ合っ、たっぷりの愛情を注いで「ラン」を育ててくれました。



**4** その後、犬のお母さんと分けられ、大きく成長した「ラン」が大人になり、結婚することになりました。犬のお母さんにたっぷりの愛情をもらい育ててもらった「ラン」は、今度は自分の子へ、犬のお母さんからもらった愛情を伝える番になったのです。

赤ちゃんを産んだ「ラン」は、自分の仔にお乳を飲ませ、立派に育てあげました。

**移動動物を紹介します**



よろしくね! 今年仲間入りした動物たち



ミーアキャットの「ナーガ」(右)と「サキ」



カピバラの「サツキ」(手前)と「マツ」



ニホンアナグマの「いけだ君」

11/5にニホンアナグマの「いけだ君」(♂)がわんぱくこうちアニマルランドより、また12/8にカピバラの「サツキ」(♀)と「マツ」(♀)、ミーアキャットの「ナーガ」(♂)と「サキ」(♀)が長崎バイオパークより仲間入りしました。新しい仲間達をよろしくお祈りします!

元気でね! 他園へ旅立った動物たち



愛媛県立とべ動物園へ アフリカタテガミヤマアラシの「ガチャピン」



長崎バイオパークへ ワオキツネザルの「ジャック」



長崎バイオパークへ アメリカビーバーの「ビリー」

9/3にアフリカタテガミヤマアラシの「ガチャピン」(♂)が愛媛県立とべ動物園へ、また12/8にワオキツネザルの「ジャック」(♂)とアメリカビーバーの「ビリー」(♀)が長崎バイオパークへ搬出されました。新しい仲間と幸せに暮らしてほしいと思います。

※掲載の動物は平成21年度下半期に移動となった主な動物です。

こんにちは! 赤ちゃん

アフリカタテガミヤマアラシの「ペロ」だよー!



9/3にアフリカタテガミヤマアラシの赤ちゃんが誕生しました。愛称は「ペロ」で、性別はオスです。母親の「ワヤ」に大事にされながらすくすくと育っています。

お母さんの「ワヤ」と一緒

**訃報**

動物園ではたくさんの動物との出会いや別れがありますが、一番つらいのは亡くなることによる別れです。

トナカイの「モモエ」(♀)が10/9に循環不全により、マーコールの「ヤワラ」(♀)が10/15に循環不全により、ヤワラの仔が11/12に貧血により、ワタボウシパンシェの「タマ」(♀)が11/19に肺炎等で、「パン」(♀)が12/11に敗血症により、また11/2に誕生したコクチョウのヒナが12/23に肺炎で死亡しました。

天国で安らかに眠ってください。



ワタボウシパンシェ「パン」



コクチョウのヒナ



ワタボウシパンシェ「タマ」



マーコール母仔



トナカイ「モモエ」